

## とうきょう すくわくプログラム活動報告書

所在	東京都世田谷区中町 5-9-9 コミュニティプラザ 1、2 階
園名	ポピンズナーサリースクール世田谷中町

### 1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然（生き物・ほくたちわたしたちみんな）

<テーマの設定理由>

子どもたちが自ら興味を持っている動物や危険生物をきっかけとして、さらに生き物や自然物へと興味・関心を広げる中で、一人の人として大切な「自分」の存在に気が付き、自分や他者を大切にしたい気持ちに繋がりたい。

### 2. 活動スケジュール

2025 年 6 月 10 日 【クラス活動】

目的：動物や危険生物をもっと知ろう

方法：映像観賞

2025 年 7 月～ 【個々の活動】

目的：調べたり、作ったりしてみよう

方法：図鑑、LaQ での探索活動

2025 年 9 月～ 【クラス活動】

目的：生き物博士になろう

方法：エコキッズアドベンチャーオンラインプログラム参加

2025 年 11 月～ 【個々、グループ活動】

目的：砂で色々なものを作ってみよう

方法：砂場遊び

2026 年 1 月～ 【クラス活動】

目的：自分や友達を大切にしよう

方法：絵本、画用紙

### 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・ 図鑑
- ・ 映像視聴（PC、スピーカー、スクリーン）
- ・ 砂場

### 4. 探究活動の実践

#### <活動の内容>

・ 子どもたちの興味・関心を入口に様々な動物や危険生物の生態について知る。・ 図鑑で調べたり、LaQ で生物の形を自由に作ることで興味を広げる。・ オンラインプログラムに参加し、陸の生き物を中心としたクイズや動物園飼育員の仕事についてお話を聞いて楽しむ。・ 職員が手作りで設定した園庭の砂場で、山を作ったり、水を使って遊ぶことでその特性に触れる。・ ちくちく言葉やふわふわ言葉を知ること、自分の気持ちに向き合う経験をする。また、日常生活の中で自分や他者も同じように大切にしようとする気持ちの芽生えにつなげる。

#### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

・ 動物や危険生物に詳しい子どもが得意げに友だちや保育士に伝える姿があった。なぞなぞやシルエットクイズなどでは、クラス全体が盛り上がっていた。また身近な玩具を使ってクモやサソリなどを作り、「外来生物だよ、毒があるから危険だよ」などとそれぞれの特徴を話して楽しむ姿が見られた。・ 砂場遊びでは、大型スコップを使って大きな山を作ったり、砂場遊具の他にボールなども取り入れてその特性に触れられる機会を作っていた。砂にボールの跡がつくことを発見すると、その驚きを保育者に伝える姿が見られた。・ ちくちく言葉、ふわふわ言葉は子どもたちから出てきた言葉を掲示したことで継続的な活動に繋がった。



だいあま	あこま	おうえん しているよ	すてもの	かわい
あこま	はかせ んとあげ る	たかいじょうぶ	だいあま	めま
かわい	♡うれしいことは♡			だいあま
	なにがあげる	だいあま	いゆ	
だいあま	いしよ	ふうた=ぬ い	あまこま	まじがら
あこま	はろりの あ ときいご	ごほんかい	いちば あま♡	いもあ りかとう

あま	まい あま	ころせ い	い	あかま はずれ
だいあま い	かみま ねえな	キー いせ うり	はか	あま
あま	○かなしいことは○			まら
	まら	あま	あま	
あかま すれ	あま	あま	あま	あまえ う る せえな
まら	ごぶた い な	うる せ え	いれ な い ご	あま

## 5. 振り返り

### <振り返りによって得た先生の気づき>

・子どもたちの動物や危険生物への関心が非常に強く、元々知っていることに、絵本や図鑑で調べることで更に知識が加わり、興味が深まっていくことを感じた。また、動画視聴やオンラインプログラムにより、普段と異なった活動を取り入れたことで、子どものわくわくドキドキした気持ちがより高まり、探求した内容がより子どもたちの中に浸透していった。

・砂場での活動では、5歳児クラスだけでなく、園全体で取り組めたことが良かった。職員も「子どもたちのために砂場を作ろう」と団結できたので、子どもたちだけでなく、保育者にとってもわくわくする楽しい活動になった。

・言葉についての活動後は、自分の気持ちを自身の言葉で「ありがとう」「だいすき」などと友だちや担任に伝える姿につながっていった。

今後も自分自身を大切にしながら、他者をいたわり、お互いに尊重出来る関係を築いていって欲しい。